

[別紙]

令和5年度 学校評価アンケートを受けて

要望・意見	改善に向けて
<p>○タブレットPCについて ア 教科の内容面の教育と活用技術の習得は、分けて考えるべきではないか。例えば、隣の人と相談して関連する言葉を集めましょうという国語の課題で、子供たちはタブレットの操作で時間を使い、肝心の中身の議論になっていなかった。</p> <p>イ 担任の先生によって、授業や課題で使う頻度が違うのではないかと。何か指針のようなものはあるのか。</p>	<p>ア ご指摘いただいた通り、タブレットPCを操作する技術を習得する場面とタブレットを使用しながら話し合う場面は、切り離して考えるべきです。話し合わせる際には、「何のために話し合うのか」を意識づけたり、時間を明確に示したりして取り組ませています。ただ、タブレットの技術はある程度、活用しながら身に付けるところもありますので、苦慮しているところでもあります。</p> <p>イ 「タブレットを使って調べたり、まとめたり、発表したりする授業がありました」の児童用アンケートでは、約97%の児童が肯定的な回答をしており、確実に使用頻度は向上しています。しかし、まだ、教員間で使用頻度に差があることから、一昨年度作成した「ICT年間活用計画」を改訂しながら学年間での共有を図り、差が出ないようにしてきます。</p>
<p>○学校だよりについて ア 行事予定表をもっと早く配布してほしい。</p> <p>イ 事前案内していた内容が今月分に掲載されてなく、前月を確認しないと情報が得られないことがあった。</p> <p>ウ 学年だよりがなくなってしまったのが残念である。先生方の負担を減らしてほしいと思うので、賛成でもあるが、学年の様子が分かりづらい。</p> <p>エ 全学年まとめられたお手紙となったことで、なんとなく上の学年に進んだときの様子が見えた良かった。</p>	<p>アイ 保護者の要望にあるように少しでも早く配布できるように月初めに配布していたものを月終わりには配布できるように変更しました。必要な情報につきましては、情報が分断されないように掲載をしています。</p> <p>ウエ 行事前など必要に応じて学年から臨時号は出すようにしていきませんが、紙の使用量を削減する観点や教員の働き方の見直しのからも通知文を削減していくことに理解いただきたいと思います。</p>
<p>○スポーツフェスタについて ア 仕組まれたスポーツフェスタの実態が残念でならなかった。</p> <p>イ 保護者の負担を鑑み、弁当を準備する機会は最小限にしてほしい。また、運動会を午前中で終わらせるなどの工夫も検討してほしい。</p> <p>ウ 大きなグラウンドを借りて、児童や保護者全員が参観できるようにしてほしい。</p>	<p>ア スポーツフェスタの反省にも、「紅白順番に勝敗が決まるようにしているのでしょうか」という質問がありました。「仕組まれた」とはこのことでしょうか。結論から言えば、何も組んでいません。確かにここ数年、紅白が交互に優勝していますが、紅白分けは、短距離走のタイムを基に機械的に割り振っています。この方法は、愛日小ですっと行われているシステムです。そもそも紅白が順番に勝つことに、教育的価値は全くありません。真剣に勝負しているからこそ、勝ち負けに意義があります。また、競技だけではなく、応援や審判、得点などの係を真剣に取り組ませる意味もなくなります。そうでなければ、紅白の勝敗のないフェスタを実施しています。</p> <p>イウ 相反したご意見をいただいております。 今後もPTA本部の皆様と話し合いながら、学校行事で保護者の負担にならないように努力していきます。スポーツフェスタにつきましては、午前中開催となると、さらなる種目の削減となります。現在実施している形態は、6学年を通して、徒競走、団体競技、表現の成長を観ていただけるように、児童に過度な負担とならないようにしています。 他校のグラウンドを借りて、一同に会したフェスタを開催することは、負担が多すぎます。事前練習や実施が延期になった場合の調整、さらに熱中症のことを考慮すると、練習時の低学年の往復、全校児童が校庭にいるためのテント設置、児童椅子の運搬等々、準備等でより時間がかかり、多くのPTAの皆様のお力を借りしなくてはなりません。学校行事については、児童、PTA、教員に過度な負担にならないように、考慮して実施していきます。</p>
<p>○宿題について ア 自主学習を宿題に選べるのは素晴らしい。</p>	<p>アイ 昨年度の学校評価を基に、宿題の出し方を変更し、「基本の学習」と「自主学習」を4年生から取り入れました。(1～3年生は</p>

<p>イ宿題を減らしてほしい。家庭で別の学習をさせたいが、時間的に厳しい。</p>	<p>「自主学習」の練習という形で週1回)基本の学習だけではなく、自分の苦手部分や調べたいこと等、最終的には自分で学習を進められるようになってほしいと考え取り組んでいます。宿題の基本的な考え方として、あくまでも家庭学習の一助です。</p> <p>来年度は、3年生でも後期以降4年生以上と同様の選択制を導入していきます。今後も、検討を重ねてさらに愛日小学校の児童に合ったものにしていきます。</p>
<p>○不登校について ア一旦行き渋りになると、生活習慣の乱れや学校への抵抗感が高まり、本人の体制の変化により、学校に戻れなくなってしまうので、予防が大切なのではないか。保護者を巻き込んだ学校全体での取り組みが必要だと考える。</p>	<p>ア コロナによる緊急事態宣言による休校やリモート授業の影響を受け、全国的に不登校の児童が増加していることは事実です。本校でも不登校の児童が増加しており、予防及び初期対応の重要性を再認識しています。日頃から児童の実態把握に努め、児童が安心して生活することのできる学校生活を提供することが何よりです。そのためにも、児童理解に一層努め、全教職員で児童の育成に取り組んでいきます。特にふれあい月間では、児童の心に寄り添い、丁寧な対応に努めます。</p> <p>不登校の原因は様々で、一律に対応することが難しいため、保護者の方と連携を今まで以上に密にし、その子にとって最善の方法を検討しながら対応していきます。</p>
<p>○言葉遣い・挨拶について ア先生方の言葉遣いが気になる。特に注意するときの言葉遣いです。 イ言葉の使い方が気になる。特に先生や目上の方への敬語が使えない子が多い。 ウ以前は、学校ですれ違う時に大きな声で挨拶をしてくれていたが、今はこちらから声をかけても反応がない。</p>	<p>アイ 毎年、同様のご意見をいただいたことについて、申し訳ありません。児童への指導の一環であったとしても、教師が熱くなりすぎず冷静に対応できるように日々取り組んでまいります。教師もつい感情的になることもありますが、アンガーマネジメントを身に付け、児童の手本となれるようにしていきます。</p> <p>ウ コロナ禍のマスク着用により、児童の表情が読み取りづらくなりました。収束しても、なかなかマスクを外せない現状です。まだ、児童の心は解放されておらず、マスクを外すことをためらいがあるのでしょう。挨拶は心の窓です。児童が大きな挨拶をできる気持ちになっていないのでしょうか。気持ちのよい挨拶をすることは、当然指導いたしますし、心豊かな児童を育成できるように、教育活動に取り組んでおります。まずは、「挨拶されたら挨拶し返す」を徹底していきます。</p>
<p>○その他（要望） もし、可能であれば、行事を減らしていただいても、地域への公開を減らしていただいても良いと思います。先生の一番大切な仕事は、子どもと向き合うことと。子どもが学校の軸であることを教師保護者共に認識しつつ二人三脚できればと思います。その時間を取れるようにしてほしいと強く願います。現場ではクラス頼りと学年頼りを統合して時短等の工夫をされているようです。そんな工夫も感じつつも、もしお願いできるのではあれば、地域ではなく、親でも、先生でもなく、子どもの為に何が必要で何を優先すべきか話し合いをお願いできれば幸いです。</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私たち教員が一番に考えていかなければならない内容です。様々な学校の役割を認識しつつ、できること、できないことを精査しながら、子ども達の成長のために考え、実践していきたいと思えます。</p> <p>本年度も様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。</p>